

まいすてっぷ放課後等デイサービス自己評価
(平成30年11月実施) (8人中8人回収 回収率100%)

		はい	どちらともいえない	いいえ	無回答	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	7	1			・個室で個別支援が隣り合う時に声の大きさを気をつけている
	② 職員の配置数は適切であるか。	8				
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	8				・スロープがある
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPCDAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8				・12時から12時45分、14時45分から15時45分、17時45分から18時30分の時間帯は、課題設定と振り返りを行うために、子どもを入れない時間として毎日設定している。その時間勤務しているスタッフで、ミーティングを行なっている。その都度意見を出し合い、評価修正している。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等により、アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	8				
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	8				
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		1	7		・第三者委員会には委託していないが、税理士、社労士、経営の3顧問より法令に関わる助言を受けながら経営している。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	6	2			・必要な研修を順番に受けている・コロナ禍で厳しいが、研修という名目ではないが、日々職員間でより改善できる方向を話し合っていると思う。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8				
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	8				
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8				
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8				その子に必要なことを行う・固定化することで落ち着く子もいる。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか。	6	2			・平日、休日関係なく、その時その子に必要なことをやっている。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8				
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	7	1			・使用する教材や教具などの確認を行なっている・特にグループ療育前は、スタッフ間で数日前から役割分担を行う。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	8				・その日の報告や課題を報告する・その日の子どもの様子や活動の様子を話したり聞いたりしてシェアしている
	⑰ 日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8				・活動後の記録をする時に、日々毎回情報を共有し、次に何をするかなど、更なる支援方法を話し合っている
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	8				
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行なっているか。	7	1			・個別支援計画に組み入れてあるので、そのまま実施している。
関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか。	4	1	3		担当の参加ができる時はして、難しい時は担当、管理者、児発管で情報をまとめて提供する
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡を適切に行なっているか。	1		7		送迎車はない。全て保護者送迎。
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。		4	4		・対象児がいない

		はい	どちらともいえない	いいえ	無回答	工夫している点、課題や改善すべき点など
携	23	4	4			・放デイ利用のお子さんは、ほとんどが児童発達支援（就学前）からの利用継続なので、就学前の段階から保育園、幼稚園、他の事業所と情報共有している子ども達もいる。・以前利用していたところとのやりとりはあまりない
	24	7	1			・障害福祉サービスに移行する場合はしている・大きいお子さんは土曜日のみ利用なので、土曜日勤務しないスタッフはわからない
	25	5	2	1		・情報共有や連携はその都度やってる・コロナ禍ということもあり助言や研修は受けていない
	26	1		7		・個別、少人数での支援のため、交流はなかなか難しい。 ・自分に障害があると認識していない子どももいる中、あえて「障害のない子」と交流するのも不自然に思える。
	27	3	2	3		管理者が参加する
	28	8				毎回保護者さんと10分前後面談している
	29	3	2	3		・現在は勉強会はコロナ禍でやっていない・トレーニングはないが、子どもへの対応等で、保護者の言動を認めたり、アドバイスすることは時々ある・毎年県外から講師を招き行なっていたが、今年はできなかった。
保護者への説明責任等保護者への説明責任等	30	6	2			契約する担当職員がしている
	31	6	2			毎回保護者と話す中でそのような話が出てくるので、その場で言えることは伝え、調べる必要があることは次回伝えている
	32		1	7		本来ならば保護者同士が集う部屋も、今年はコロナの影響で入室制限となり、賑わう姿も見られなかった
	33	7	1			している
	34	8				室内には掲示しており、子どもの意思を聞いてから、保護者に参加の相談をしている。会報は現在ホームページに掲載している。
	35	8				
	36	7	1			コロナ禍ということもあり、オンラインやメールなど、様々な手段を用いている・配慮しているつもりでも、保護者の受け取り方次第の時もあるので、もっと配慮が必要と思う
非常時等の対応	37	1		7		・外部に開かれることは望まれない保護者様も多い。 ・同じ学校の同級生や保護者などに、事業所利用を知られたくない子どももいる。
	38	7	1			・今年はコロナがあったが、県からの通達を元に周知してきた
	39	8				個別療育が多いので、全員揃ってはできないが、実施はしている・ほとんどの子どもに、災害時のソーシャルスキルトレーニングをしている
	40	7	1			研修機会の確保はあるが、参加することは日々の療育重視なので難しい
	41	8				
	42	4	1	2	1	・初回面談児に確認をする・おやつをあげて良いか確認をしている・指示書というより、保護者からの情報により対応している・保護者よりいただいた情報の中でおやつは対応している。
	43	8				している